

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念や目標を見直す時期である。簡潔に分かりやすく作った方がよい。	理念や目標について職員全員で考え作成する。 ～地域生活の継続を基本とし作成～	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある理念や目標について評価を行う。 ・会議の場等で職員全員で話し合いをし、内容を明確にする。 ・新しく作った理念や目標を共有し実行していく。 ・定期的に評価を実施。 	6ヶ月
2	4	認知症キャラバンメイト活動を通して、地域の方から認知症についての理解が得られるような働きかけをしていく必要がある。	地域の方との交流を通し、認知症の理解や相談窓口となる事が大切。	<ul style="list-style-type: none"> ・他のキャラバンメイトの方々と協力し合い、認知症サポーター養成講座を開催する。 ・運営推進会議の場に、地域の方々から参加して頂き、認知症や困難事例をもとに、グループホームや認知症についての理解を得られるような活動をする。 	12ヶ月
3	10	家族アンケートの実施が必要。	家族アンケートを実施し、改善や向上に努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙を作り、配布・回収する。 ・結果を集計し満足度・不満足度を明確にし、職員会議等で話し合い改善・向上に努めていく。 ・集計結果や改善に向けての指針について家族へ報告する。 	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。